

社会福祉法人 上溝緑寿会

平成27年度事業計画

～目次～

法人全体の方針	…	2
ずっと我が家 上溝本町 [上溝 6-2-22]		
ショートステイ	…	5
デイサービス	…	7
ホームヘルプサービス	…	9
秋桜 [上溝 3172-1]		
グループホーム秋桜	…	11
デイサービス秋桜	…	13
星が丘高齢者福祉施設 [星が丘 4-9-14]		
星が丘デイサービスセンター	…	15
星が丘地域包括支援センター	…	17
コスモスセンター [上溝 5423-5]		
居宅介護支援事業	…	20
上溝地域包括支援センター	…	21
コスモスホーム	…	23
コスモスハウス	…	25
栄養調理部門	…	27
総務事務部門	…	28

法人理念・ビジョン～私たちはめざしています～

人生は、いつでもあなたが主役です

～1日24時間、1年365日、住み慣れたところで、その人らしく生活することを

コスモスセンターはお手伝いします～

この目標を実現するために、私たちは次のメッセージをお送りします。

ご利用者様、介護するご家族様に

私たちは、「介護が必要な状態になっても、できるだけ自分の生活を自分で決め、豊かに安心して生活していく」ことを援助したいと考えています。

そして、そのことをすべての職員が目標にしています。

そのために、

ご利用者様が「大切にしていること、したいこと」「今までこだわってきたこと」をどうぞご遠慮なくお伝えください。

「苦しいこと、辛いこと、困っていること」をどうぞお聞かせください。

全てにはお応え出来ないかもしれませんが、一つひとつの「想い」を大切にして、できるだけお応えできるよう、私たちは努力してまいります。

一緒に働く・働こうとする仲間に

介護、相談、医療など各分野で援助に関わる専門職として、「チームでご利用者様とご家族を支える、1+1が3にも4にもなる、この実感を仕事の醍醐味とする」ことを目指します。

そのために、

「とことんコミュニケーションできる」「伝えようとする、伝えている」

「聴こうとする、解ろうとする」「何でも腹をわって話せる」「先を見ようとする、見える」仲間を求めています。

そして、みんなで、目標の実現に向けて一步一步、歩んでいきたいと思えます。

地域に

地域の皆さまが気楽に集える、交流できる、そして「いろいろな何か」が得られる場を、地域の皆さまとともにつくっていくことを目指します。

そのために、

私たちは地域の皆さまといろいろな場面でどんどん関わっていきたくと思っています。

地域の皆さまもどうぞお気軽にお立ち寄りください、お声かけください。「介護の相談がなければ…」ということはありません。

小さな交流の種を「地域の皆さまとともに」たくさん育てていきたいと思えます。

※上溝緑寿会ホームページ(<http://www.cosmos-c.or.jp/>)の「法人理念・ビジョン」に掲載中

法人全体の方針

1. はじめに～平成 27 年度事業計画立案にあたり～

平成 27 年度の介護保険改正は、地域包括ケアの体制の構築をすすめるとともに、負担の公平化を目指した改正となりました。同時に、消費税増税延期等の財政状況の厳しさを反映し、介護報酬全体としては減額改正となりました。

一方、相模原市では、特別養護老人ホームの整備等が進んだ結果、特別養護老人ホームの待機者が減少するだけではなく、全市的にショートステイ、デイサービス等の在宅サービスの稼働率の減少が目立つようになってきました。また、各事業者が、介護職や看護師の確保に非常に苦慮している状態が続いています。

今回の制度改正と相模原市の状況により、収入確保・人材確保の両面での厳しさが増します。地域に信頼され、貢献する社会福祉法人として、多くの地域の方々に利用され、専門職による質の高いサービスを着実に提供していくことが、ますます重要であると考えます。

2. 平成 27 年度事業計画の重点項目

(1) 将来の法人の屋台骨を支える人財を育成する

①専門職としての「リーダーシップ力」の育成

現在のリーダー以上の職員だけでなく、中堅以上の職員が様々な場面で臨機応変に「リーダーシップ力」を発揮できるよう研修を行うとともに、状況に応じ、人材の再配置を行います。

②リーダー以上職員の育成

リーダー以上のマネジメント(組織運営)に携わる職員は、「経営力」=法人の基本理連と法人に基づき、「人財、物(設備)、お金(収入・支出)、情報」の4つの要素のバランスを把握し、配分する力 が必要です。

平成 27 年度は、「主任クラス」以上の人材が、上記の「経営力」での自分の弱点を把握し、管理職のアドバイスを得ながら、自己研さんを進めていく取り組みを実施します。

(2) より専門性を高めるアプローチにより安定した収入を確保する

①収入の確保と稼働率の維持

当法人は、全てのセクションにおいて介護保険法等が求める運営基準以上の人員配置と資格取得者の配置を実現しています。

このため、本年度は各セクションとも「稼働率 100%をめざすこと」を常に念頭に、当法人の専門職によるサービスをできるだけ多くのご利用者やご家族、地域の方に知っていただくことに全セクションで取り組みます。

稼働率の維持・向上だけでなく、サービス内容をわかりやすく PR(広報)していくことにも重点を置き、「伝わるサービス提供」を徹底します。

②加算制度の活用

平成 27 年度の介護保険制度改正では、基本報酬はマイナス改定となりましたが、各種の加算が、機能訓練やターミナルケアを中心に充実が図られました。この加算制度を積極的に利用し、収入を確保するとともに、ご利用者にわかりやすい「効果の見える」サービス提供の充実を図ります。

(3) 地域とともに「共生」の場づくりをする

社会福祉法人は、他の営利法人と異なり、地域に貢献し、地域とともに「地域づくり」に積極的に関わっていくことが必要です。この「地域づくり」は地域包括ケア体制の土台となるものです。

上溝緑寿会の 4 つの拠点が、それぞれ、地域に開かれた「共生の場」(地域の寄りあいの「みなと」としての機能を、今まで以上に果たしていくように、地区社協や自治会、商店街と協働してまいります。

3. 定例の評議員会・理事会の開催予定(平成 27 年度)

本年度の定例の評議員会・理事会開催は、次の日を予定いたしております。

第1回	5月 30 日(土曜日)	第3回	12月 5 日(土曜日)
第2回	9月 5 日(土曜日)	第4回	3月 26 日(土曜日)

地域での催しや施設の都合での変更もあり得ますが、予定日とします。

議案の提案に際しては、できるだけわかりやすく提案するよう努力してまいります。

ずっと我が家ショートステイ

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 稼働率100%を目指します

- ①営業活動を計画的に実施していきます。年間を通じた計画、月毎に沿った計画を立てていきます。また個々の居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)の利用状況を踏まえて、訪問する回数や時期、タイミングなどを調整していきます。
- ②「我が家」ショートの特徴を明確にし、セールスポイントを強化します。「我が家」ケアのひとつ、「客観的なケアアプローチ」を確立し、それを伝えていけるようにしていきます。また多様な日中活動を展開し「生活リハビリ」を PR していきます。
- ③利用者やご家族の満足度を高め、継続利用者を増やしていきます。そのために、利用される方のニーズをいち早く掴み、その方に合わせた過ごし方を提供していきます。ご家族とは、介護負担の軽減が図れるように、現状の課題について共有していき、共に支えていく関係を作っていきます。
- ④フルオープンを抑え、システムや業務の整理をし、体制の整備を行います。

(2) 職員教育を通じて、スキルアップを図ります

- ①全職員が施設内外の研修へ積極的に参加します。また研修報告会を設け、全職員に研修内容を周知します。
- ②主任、ユニットリーダーを中心に個々の職員のスキルアップを目的とした面接機会を設け、個々の目標を設定し人材育成を行います。(評価・振り返りを含む)
- ③新人職員の早期育成の為、各マニュアルの再検討を行います。新人職員には相談役として中堅職員(バディ)を設定し、日常の疑問解決や指導を迅速に行います。

(3) つながり(職種間・サービス全体)を強化します。

- ①事前情報からのアセスメントの実施、介護計画の作成、ケア実践、実践から見え

てきた課題・評価といった一連のケアサイクルを組み立てていきます。

②個々の利用者のケアポイントをいち早く押さえて実践していけるように、情報共有を図る仕組みを強化していきます。

③ケアを通じて、その方の課題を職種間で共有し、課題解決にむけた検討を繰り返し実施していける仕組みを強化していきます。

2. 提供する事業量の目標

稼働率100%

1日平均利用者数:30名（3ユニット稼働時）/ :40名（4ユニット稼働時）

主な年間スケジュール

月	日	事業・行事	日	研修
4		花見 (午前ラジオ体操/広場で実施)		
5		公園 散歩 菜園準備・開始		認知症 研修 (日程未定)
6		紫陽花 見学		介護職のための医療・看護知識 (日程未定)
7		上溝夏祭り		ケア研究大会 参加
8		花火大会 そうめん流し		(救命救急講習)
9		敬老祝賀会		ユニットリーダー研修 (日程未定)
10		運動会 紅葉見学		感染症 研修 (日程未定)
11		イルミネーション見学 酉の市 参加		
12		クリスマスケーキ作り		
1		初詣 (参加希望のみ) 亀が池八幡宮 だるま市 見学 ・お汁粉作り		
2		節分 ~豆まき~ バレンタインデー クッキー作り 梅見学 ~相模原北公園~		
3		ひな祭り マシュマロのパナナシナモン作り		

ずっと我が家デイサービス

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 心身の機能維持向上を狙いとした選択制のプログラム運営

ご利用者の心身の機能維持向上への支援に向けて、機能訓練と生活リハビリを選択制のプログラム運営と利用者の持つ力を引き出す自立支援のなかで推進する。我が家の独自性を打ち出す。

(2) 1日利用者実績は 29 名の達成

平成 27 年度の累計(4～2月)での実績、27.7 名となった利用実績を上記(1)の実践による訴求で土曜日での受け入れ増により、目標の 1 日 29 名の達成維持を図る。利用者数の安定確保により介護報酬単価の減少分を補填する。

(3) 制度改正に伴う加算を取得する体制

個別機能訓練加算Ⅱ、中重度者ケア加算の取得に向けて、訓練計画実施対応、利用者構成比、職員人員構成の面で体制を整える。

(4) ずっと我が家の理念共有と傑出した職場環境

制度改正のなかで、デイサービスに今後、求められる役割と方向性を捉えた、効果的なやり方(資質・技術向上)の仕組みをずっと我が家の理念のなかで確立する。業界内外の最も優れた取り組みから学び、職員の知恵と貢献を最大限に発揮できる環境、働きがいのある傑出した職場の実現を推進する。

2. 提供する事業量の目標

1日平均利用者数29名

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	花見 誕生会	10	誕生会
5	菖蒲湯 誕生会	11	出張にぎり寿司 誕生会
6	誕生会	12	クリスマス会 誕生会
7	納涼祭 誕生会	1	初詣 誕生会
8	誕生会	2	鍋パーティー 誕生会
9	敬老祝賀会 誕生会	3	誕生会

ずっと我が家ホームヘルプサービス

1. 平成27年度事業計画

(1) 生活機能向上の視点を持つことに努めます。

高齢者にとって、在宅での日々の生活リハビリはとても重要と考え、生活機能向上に向けた視点を持ち、提案していきたいと思えます。

そして生活機能向上加算取得につなげます。

(2) 職員のスキルアップに取り組みます。

在職ヘルパーの介護福祉士資格取得に向けて、ヘルパー研修において実務指導を盛り込んだ内容を計画します。

(3) 認知症の理解と援助をより一層高めます。

認知症になっても、できる限り在宅生活が安心して送れるよう担当ヘルパー間で綿密なアセスメントに基づき連携を強化しながら、支援します。

認知症の方が表現する姿が「困ったこと」ではなく、その背景を知り、理解を深め、言動を認め、利用者様の視点に立ち、安定した在宅生活が継続できるように取り組みます。

(4) 各書式の見直しと整理に努めます。

2. 提供する事業量の目標

(1) サービス提供責任者の1ヶ月の活動時間の目標50時間を目指します。

(2) 利用者数100件を目指します。

- ・ ヘルパー活動の空き情報を各居宅へ提示していく。

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	ヘルパー会議	10	ヘルパー会議
	今年度のヘルパー目標		感染症・事例検討・研修について
5	ヘルパー会議	11	ヘルパー会議
	接遇について		記録について
6	ヘルパー会議	12	ヘルパー会議
	食中毒・事例検討・研修について		実技演習
7	ヘルパー会議	1	ヘルパー会議
	緊急時の対応について		リスクマネジメント
8	ヘルパー会議	2	ヘルパー会議
	認知症事例検討・研修について		実技演習
9	ヘルパー会議	3	ヘルパー会議
	実技演習		1年の反省
※	年間を通じ、ヘルパー個別の研修を合わせて実施する。		

グループホーム秋桜

1. 平成 27 年度事業計画

(1) できること、やりたいことがある生き生きとした暮らし作りをします。

- ①状況の変化に応じたアセスメントを行い、ケアプランに反映し実践に活かしていきます。
- ②ご利用者が、「こころ(情緒と知性)とからだ」を動かしたくなるような支援をします。
- ③ご利用者とご利用者、職員とご利用者とのつながりを深め、コミュニケーションの輪を広げます。
- ④コスモスホームと連携し様々な状態の変化にあわせ、適した支援が受けられるようにします。

(2) ご家族との交流を深め、協力しながらご利用者の支援に努めます。

- ①ご利用者の状態を的確に伝え、状態の理解の一致のために、主治医との面談を実施していきます。
- ②サービス担当者会議の持ち方や、内容を検討し、実践していきます。
- ③秋桜便りの発行、衣替え、誕生会、行事等ご家族とともに、利用者を支援していくことを継続していきます。

(3) 地域に根ざしたケアを実践します。

- ①年 2 回(夕涼み会、餅つき)の地域交流事業の継続と、日々の暮らしの中でのボランティアさんや地域のかたの協力を得ていきます。
- ②また、「認知症」の理解や地域の方の抱えている問題について、一緒に考えていく場所づくりにとりくみます。

(4) 職員の資質と技術の向上を図ります。

- ①ご利用者への関わり方についての研修や日々の実践の振り返りをします。
- ②施設内研修、外部研修に取り組みます。

2. 提供する事業量の目標

年度を通じ、定員 18 名を維持します。

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容	
4	お花見	10	バス旅行	
			運営推進会議	
5	こいのぼり	11	紅葉狩り	
	バラ園		庭の手入れ	
	あじさい・菖蒲園		外部評価	
	秋桜便りの発行		秋桜便りの発行	
6	運営推進会議	12	餅つき(地域交流事業)	
	庭の手入れ		運営推進会議	
7	夕涼み会(地域交流事業)		1	冬野菜収穫
	上溝夏祭り家族会			手品
	芋掘り	新年のお祝い		
8	防災訓練	2	初詣	
	秋桜便りの発行		防災訓練(運営推進会議)	
			豆まき	
9	敬老のお祝い(ご家族と)		3	出張寿司・味噌づくり
		秋桜便りの発行		
		味噌作り		
		梅・彼岸桜		
			運営推進会議	
			お花見・家族会	

デイサービス秋桜

1. 平成 27 年度事業計画

(1) できること、やりたい気持ちが発揮できる支援をします。

- ①C-PAT等活用し、アセスメントを的確に行い支援に活かしていきます。
- ②ご利用者が「こころとからだ」をうごかしたくなるような支援をします。

(2) ご家族の負担が軽減され出来るだけ長く在宅生活が維持できるよう支援します。

- ①家族懇談会を開催します。
- ②臨時利用を積極的に受け入れます。
- ③デイ秋桜便りを年4回発行します。

(3) 様々な状態の認知症状にかたの支援に取り組みます。

- ①「心理・行動」症状は、ご利用者のSOSととらえ支援していきます。
- ②軽度認知症のかたにとっても、いごこちが良い環境作りや支援に取り組みます。

(4) 個々の職員の資質や技術の向上を図ります。

- ①毎月の会議の中での研修の実施や、外部研修の参加を実施します。
- ②関わり方や身体介護などの実技の研修に取り組みます。

2. 提供する事業量の目標

月～土(営業日)の平均利用者数:8/日

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	お花見	10	ミニ運動会
	外食		
5	こいのぼり	11	秋のドライブ
	あじさい、菖蒲園		
	家族交流会		
6	バラ苑	12	手品
			クリスマス会
	お茶会		
7	バーベキュー	1	新年のお祝い会
	七夕祭り		初詣
			情報公開
8	防災訓練	2	防災訓練
	納涼祭		豆まき
			出張寿司
9	敬老のお祝い	3	ひな祭り

星が丘デイサービスセンター

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 法改正による減収を抑え、収益を確保する

- ①新設された各種加算の取得及び維持を図ります
- ②空籍の期間を短くし、利用実績の低下を最小限に留めます

(2) 利用実績の向上を図る

- ①介護支援専門員との効果的な連携を図り、また空籍の案内を積極的に行います
- ②一昨年度より行っている地域との連携を強化し、デイサービスのさらなる理解を深めます

(3) 「見えるデイ、見せるデイ」から「繋がるデイ」へ

- ・デイサービスの利用者同士の関わりだけでなく、積極的に地域交流スペース(活動室)を開放し、そこを利用される地域の方々と、活動を通じて繋がりが持てる場を目指します

(4) 福祉従事者としての質を高める

- ・自己学習や職員会議内での研修のほか、目標や課題に沿った外部の研修に参加し、報告・共有することで、効果的に全体の質を高めます

2. 提供する事業量の目標

平成26年度実績を上回る年間平均20名以上

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	桜の花見&喫茶(～中旬)	10	運動会
			おやつ作り
			認知症及び認知症ケアに関する研修
5	菖蒲湯	11	外出喫茶(中～下旬)
	おやつ作り		
6	よさこいイベント	12	ゆず湯・もちつき
	外出喫茶		年忘れ演芸会
	感染症・食中毒の発生予防及びまん延防止研修		身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修
7	七夕行事	1	初詣(上～中旬)
8	納涼祭(上～中旬)	2	おやつ作り
	介護予防に関する研修		事故の発生等緊急時の対応に関する研修他
9	敬老祝賀会(中旬)	3	桜の花見&喫茶(下旬～)
			出張握り寿司

星が丘高齢者支援センター

(星が丘地域包括支援センター)

1. 平成 27 年度事業計画

第 6 期相模原市高齢者保健福祉計画の基本理念に基づきながら、星が丘の地域特性を活かし、相模原市地域包括支援センターの運営方針・重点目標の以下に取り組んでいきます。

① 総合相談業務の充実 ② 認知症の人及びその家族への支援の強化

③ 地域ケア会議の充実 ④ 在宅医療・介護連携の推進 ⑤ 介護予防の推進

- (1) センターの事務所移転が住民にとって混乱がないように行い、地域差のないような地域への関わりを目指します
 - ・住民や機関等の十分な周知を行います。
 - ・地域差のないための関わり方を地域の意見を聞きながら検討し、実施します。
 - ・地域のグループ支援、会議、事業への積極的に参加していきます。
- (2) 職員全体のスキルアップを図り、相談援助業務の充実を図ります。
 - ・初回訪問を基本2人体制にし、アセスメント力の向上を目指します。
 - ・センター内のケース検討会や事例の振り返りを実施します。
 - ・医師、ケアマネジャーや介護保険事業者含めての事例検討会を継続します。
- (3) 「認知症のあらゆることを星が丘の地域で支える」を目標に、予防から見守りまでを具体的に地域へ啓蒙、支援していきます。
 - ・現在ある資源の強化をしていきます。
 - ・地域に足りない資源を地域で検討し創り出していきます。
 - ・具体的な啓蒙活動を地域へ向けて行います。
- (4) 高齢に関する地域課題を具体的に地域で解決していくことを目指します。
 - ・地域ケア会議を開催することで具体的な手法で解決できることを検討します。
 - ・個別事例地域ケア会議を積極的に開催していきます。
- (5) 介護予防の意識啓発、具体的な実施に向けて住民自ら取り組むことができるように支援していきます。
 - ・介護予防教室を効果的に実施していきます。

星が丘カフェ、星が丘卓球会、星が丘カラオケカフェ、星が丘健康麻雀クラブ、星が丘オカルチャーセンター等の後方支援

(6) 職員一人ひとりが責任を持って各業務、事業実施を計画し、職員全員で協力しより良い事業を地域へ提供できるようにしていきます。

また、実施した事業を適切に評価していきます。

○相模原市の受託業務として相模原市と連携を図りながら実施しています。

○住民と共に、考え、創造し、継続できることを大切にしながら、職員全員で地域を紡いでいきます。

2. 提供する事業量の目標

地域包括支援センター事業は相模原市の委託事業であるため、「提供する事業量の目標」は、委託契約の業務仕様書に準拠します。

主な年間スケジュール

月	日	会議	日	主催事業	日	依頼参加事業、外部研修、その他
4		地域ケア会議 地区社協理事会 まちづくり会議 GHプライミーよこよこ運営推進会議		サポーター顔合わせ会 ケアマネサロン 地域介護予防事業 消費者被害予防啓蒙活動事業 介護者カフェ（毎週） 事例検討会		
5		GHさくら運営推進会議 地区社協理事会 まちづくり会議		ケアマネサロン 地域介護予防事業 介護者カフェ 介護者教室		
6		地区社協理事会 まちづくり会議 地域ケア会議		地域介護予防事業 料理教室 ケアマネサロン 事例検討会 消費者被害予防啓蒙活動事業 介護者カフェ（毎週）		
7		GHさくら運営推進会議 まちづくり会議 職員連絡会議		地域介護予防事業 ケアマネサロン 介護者教室/心のサプリメント 事例検討会 介護者カフェ（毎週）	8	かながわ高齢者福祉研究大会
8		まちづくり会議 地域ケア会議		ケアマネサロン 介護者教室 消費者被害予防啓蒙活動事業 介護者カフェ（毎週）		福祉体験/公民館 地区夜間防災訓練
9		まちづくり会議 地区連絡会		ケアマネサロン 地域介護予防事業 事例検討会 介護者カフェ（毎週）		星が丘地区敬老会参加 星が丘地区運動会
10		地域ケア会議 まちづくり会議 プライミーGH運営推進会議		地域介護予防事業 ケアマネサロン 消費者被害予防啓蒙活動事業 介護者カフェ（毎週）		星が丘フェスティバル参加
11		まちづくり懇談会 GHさくら運営推進会議 地区社協理事会		事例検討会 ケアマネサロン 地域介護予防事業 介護者教室 介護者カフェ（毎週）		
12		地区社協理事会 まちづくり会議 プライミーGH運営推進会議 地域ケア会議		ケアマネサロン 事例検討会 地域介護予防事業 消費者被害予防啓蒙活動事業 介護者カフェ（毎週）		
1		まちづくり会議 GHさくら運営推進会議		地域介護予防事業 ケアマネサロン 介護者カフェ（毎週）		
2		地域ケア会議 まちづくり会議		地域介護予防事業 事例検討会 ケアマネサロン 消費者被害予防啓蒙活動事業		
3		まちづくり会議 地区社協理事会		地域介護予防事業 ケアマネサロン		公民館祭参加

居宅介護支援事業

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 居宅介護支援の実績を向上していきます。

新規の相談や依頼については、迅速に対応していきます。また高齢者支援センターなどへの訪問を実施し、情報を提供していきます。

(2) ケアマネジャーの『アセスメント力』を高めていきます。

より根拠に基づいたケアプランを作成し、ご利用者・ご家族の支援につなげていきます。

(3) 介護保険制度の改正にともない、混乱が予想されます。適切な時期にご利用者やご家族に情報を提供していきます。

2. 提供する事業量の目標

ケアプラン(介護給付)実績作成件数 156 件/月(ケアマネジャー4名体制)

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	市集団指導講習会	10	上溝高齢者支援センター地域ケア会議
5		11	ふれあいまつり
6	上溝高齢者支援センター地域ケア会議	12	
7	運営状況点検書作成	1	情報公表
8		2	上溝高齢者支援センター地域ケア会議
9	特定事業所集中減算報告書作成	3	特定事業所集中減算報告書作成

上溝高齢者支援センター

(上溝地域包括支援センター)

1. 平成 27 年度事業計画

第6期相模原市高齢者保険福祉計画の基本理念『いきいきと充実した生活をおくことができる高齢社会の形成』に基づき、高齢者の社会参加を促進するとともに、高齢者が心身の状況や生活環境に応じた支援が受けられ、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう、高齢者支援センターが地域包括ケアシステム構築にあたり、中核的機関としての役割を十分に発揮し必要な支援、活動をしていきます。

相模原市地域包括支援センター重点目標の以下に取り組んでいきます。

- ①総合相談業務の充実
- ②認知症の人及びその家族への支援強化
- ③地域ケア会議の充実
- ④在宅医療・介護連携の推進
- ⑤介護予防の推進

- (1) 基本である相談援助技術を再度意識し、早期対応、相談に対応をしていきます。ケースを通して築いたネットワークを様々ケースへ活かせるために日々の関わりを大切に遂行していきます。
- (2) 認知症への理解を深めるための推進、普及のための認知症サポーター養成講座を地域へ展開していけるよう働きかけを行います。
- (3) 個別ケア会議(地域ケア会議)を行うことでネットワーク構築、地域課題の抽出が図れるよう展開していきます。
- (4) ケアマネ交流会を定期的開催しネットワーク構築を図ります。また地域の医療機関との連携の強化を検討していきます。
- (5) 高齢者支援センターの周知と共にネットワーク構築が図れるよう独自の通信の発行、配布場所の協力を地域へ働きかけていきます。

上記計画達成のために、

※チーム力の向上／※役割、業務の整理／※地域を知る意識をもつ を基本として業務を遂行していきます。

※地域包括支援センター事業は相模原市の委託事業であるため、
「提供する事業量の目標は」は委託契約の業務仕様書に準拠します。

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	個別地域ケア会議	10	介護予防教室(転骨 単発 予定)
	(年間通し随時)		家族介護者教室
	悠々サポーター交流会		町田福祉専門学校実習受入れ 認知症サポーター養成講座
5	介護予防教室(田中福寿会)	11	介護予防教室(単発 予定)
	介護予防教室(公民館)		けあまねっ茶 福祉まつり
6	家族介護者教室	12	介護予防教室(単発 予定)
	介護予防教室(転骨・単発 予定)		
7	介護者教室(足腰 単発 予定)	1	介護予防教室(単発 予定)
	けあまねっ茶		けあまねっ茶
8		2	介護予防教室(単発 予定)
			家族介護者教室
9	介護予防教室(コース 単発 予定)	3	けあまねっ茶
	けあまねっ茶		
	悠々サポーター交流会		

コスモスホーム

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 支援能力の向上

- ①知識・技術の基本的ケアの質の維持・向上のため、施設内研修を定期的に行います。
- ②接遇を強化し、施設内職員の対応能力の向上を図ります。
- ③利用者の行動・言動からのサインを見逃さず、「ニーズ」の表れとして症状の基本を理解して緩和に努めます。
- ④ケース担当としての役割に責任を持って行動します。
- ⑤認知症により隠されてしまっている「その人らしさ」を知り、本人の観点からケアや環境を見直します。

(2) 五感を刺激する施設のイメージ作り

- ①季節感を感じる清潔で居心地の良い空間作りに心がけ、プライバシーに配慮した生活の提供に取り組めます。

(3) 加算算定への取り組みと節約の意識

- ①加算要件を満たすため、認知症介護実践者研修・認知症介護実践リーダー研修の職員参加を促していきます。
- ②記録の見直しについて検討していきます。

2. 提供する事業量の目標

介護老人福祉施設平均入所人員数 53.5人

ショートステイ 平均稼働率 100% 平均利用人員数 16人

全体 平均稼働率 100% 平均利用人員数 70人

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	誕生会	10	オータムコンサート
	お花見ドライブ		誕生会
			「ホームだより」発行
5	散策	11	誕生会
	菖蒲湯		利用者健康診断
	誕生会		出張寿司
6	誕生会	12	ゆず湯
	テノールコンサート		誕生会
	「ホームだより」発行		クリスマスイベント
7	上溝まつりみこし渡御	1	祝賀膳
	夕涼み会と花火		初詣
	誕生会		誕生会
8	誕生会	2	誕生会・豆まき
	かき氷会		バレンタインイベント
			「ホームだより」発行
9	敬老祝賀会	3	誕生会
	誕生会		
	お月見会		

コスモスハウス

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 職員一人一人の能力を高める

入居者が発する言動の裏に隠れている真の心の在りどころをくみ取り、今まで以上に入居者の心に寄り添うことが出来る力をつける。入居者を中心に職員間で様々なことについて話し合い、視点を合わせていく。

(2) 自然に参加したくなるプログラム作り

「何をしてもよいかわからない」や「どこかに行きたいけど一人じゃ不安」という声に、入居者の希望を取り入れつつハウスでは毎月様々なプログラムを計画・実施している。ボランティアに来てもらうコンサートなどは、入居者の方が気を利かせ観覧者を集めてくることもあり「強制的になってはいないだろうか」と不安もある。

今年度は「入居者がわくわくする」ような、もっと「自然に参加したくなる」ようなプログラムづくりを目指していく。

(3) 家族の方が自然にハウスに来る仕掛けを作る

ハウスの入居者も高齢化が進み、家族の方に協力をお願いすることが徐々に増えてきているのが現状である。

本来ハウスは、自立の方が住むところであり、家族の方が始終訪ねて来なくても生活は出来るが、自然に足を運ぶ機会を増やすことにより入居者の現在の様子を知ることが出来「いざ家族に」という時、お互い慌てず現状を把握することが出来るのではないかと思われる。

家族が自然に「様子を見に行ってみようかな」と気軽に思えるイベントを企画する。

2. 提供する事業量の目標

入居者32名満室を目指す

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	ミニドライブ	10	買い物ツアー
	観桜会		コスモス見学ドライブ
	手芸		手芸
5	バラ見学ドライブ	11	紅葉ドライブ
	おやつ作り		インフルエンザ予防接種
	泳げ鯉のぼり見学ドライブ		結核検診
6	手芸	12	冬のコンサート
	コンサート		買い物ツアー
	あじさいドライブ		クリスマス行事
7	上溝まつりみこし渡御	1	新年会
	おやつ作り		初詣
	買い物ツアー		鏡開き行事
8	暑気払い	2	手芸教室
	夏祭り・スイカ割り大会		節分甘酒茶屋
	ひまわり見学ドライブ		つるし雛見学
9	敬老祝賀会	3	雛祭り甘酒茶屋
	コンサート		梅の花見ドライブ
	お月見会		初春のコンサート

栄養調理部門

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 多職種協働による栄養管理を行い、利用者の状態に合わせた食事を提供

- ①多職種との情報共有、連絡、調整と厨房内の伝達をスムーズに行い、利用者の身体状況・生活状況を考慮した栄養管理と食事の提供を行います。
- ②施設ケアプランとともに、栄養ケアマネジメントを実施し、その内容を食事に反映させ、栄養状態や健康状態、食環境が良好に維持されるよう援助していきます。

(2) 直営のメリットを生かした食事作りを行うため、職員の育成とスキルの向上

- ①職員の世代交代のなかで、高齢者の食事を理解し、安定した食事内容が提供できるよう、知識と技術の向上に努めます。
- ②利用者の状態にあった献立作成、良質な食材の選択、丁寧な調理と盛り付けを行います。
- ③日頃から配膳や行事食などの時に、声を掛け食事の様子をうかがいながら、顔の見える食事の提供を心がけます。

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	誕生会 出張にぎり寿司(ハウス)	10	誕生会 出張にぎり寿司(ホーム)
5	誕生会 行楽弁当 端午の節句メニュー	11	誕生会 出張にぎり寿司(ハウス)
6	誕生会	12	誕生会 冬至メニュー クリスマスメニュー
7	誕生会 七夕御膳 納涼祭	1	誕生会 新年祝賀膳 七草粥メニュー
8	誕生会 暑気払い	2	誕生会 節分メニュー
9	誕生会 敬老祝賀膳 十五夜メニュー	3	誕生会 桃の節句メニュー

総務事務部門

1. 平成 27 年度事業計画

(1) 建物・設備の老朽化に伴う更新

竣工から間もなく 20 年を迎えるコスモスセンターについては、特に建物や設備の老朽化が目立つ箇所が増えているため、給水設備、給湯設備、厨房設備、車両、共用部床面等の改修および更新を行います。

同様に建物や設備の老朽化が目立つ星が丘デイサービスセンターについては、相模原市から運営委託を受けている施設となりますので、市の関係部署と協議のうえ実施します。

(2) 地域包括支援センター拠点の整備

上溝地域包括支援センター及び星が丘地域包括支援センターについては、相模原市の方針に伴い、現在のコスモスセンター及び星が丘デイサービスセンターから独立した拠点を平成 27 年 5 月 1 日付で開設するため、各拠点の整備を実施します。

(3) 経理処理および経費管理の見直し

平成 27 年度は新会計基準へ切替える初年度となるため、従前より変更となる経理処理に対応するとともに、セクションごとの収益管理体制を強化します。

(4) バックアップ機能の見直しと障害者雇用の推進

地域包括の新拠点移転に伴い、拠点数が 6 拠点となることから、事務体制や業務手順を再度見直します。

また、障害者雇用に向けた取り組みとして、相模原中央支援学校から実習生の受け入れ等、法人側の態勢や労働環境の整備を行います。

主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	職員採用	10	上溝レクリエーション大会参加
	雇用契約更新		
5	理事会・評議員会	11	菊花展
	法人決算業務		ふれあいまつり
	消費税申告		
6	夜間想定避難訓練	12	理事会・評議員会
	コンサート		年末調整
			クリスマスコンサート
7	上溝夏祭・神輿渡御	1	法定調書作成・提出
	社会保険算定基礎届		日中想定避難訓練
	労働保険料申告		
8	第三者委員会	2	第三者委員会
	退職共済算定届		
	救命救急・被服更新		
9	理事会・評議員会	3	理事会・評議員会
	職員健康診断		夜勤者健康診断
	敬老祝賀会コンサート		